



2021年7月15日

株式会社 関電工

千葉県 いすみ市

東京電力パワーグリッド株式会社 木更津支社

いすみ市地域を対象とする地域マイクログリッド構築事業について

株式会社関電工(東京都港区、取締役社長 仲摩俊男、以下「関電工」)は、6月30日に、経済産業省補助事業「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金(地域マイクログリッド構築支援事業のうち、地域マイクログリッド構築事業)」に採択されました。

本事業は、千葉県いすみ市(千葉県いすみ市、市長 太田洋、以下「いすみ市」)が取り組む「強靱ないすみ市計画」を実現するため、東京電力パワーグリッド株式会社木更津支社(千葉県木更津市、支社長 四元善治、以下「東京電力 PG 木更津支社」)とともに、地域マイクログリッドを推進するために実施するものです。

これを受けまして、7月1日に株式会社関電工千葉支店(千葉県千葉市、常務執行役員千葉支店長、田母神博文)、いすみ市、東京電力 PG 木更津支社は、関電工が実施する太陽光発電設備等を活用するいすみ市地域マイクログリッド構築事業に関する基本協定書を締結し、同事業を開始する運びとなりました。

関電工は、総合設備企業として電力の安定供給やお客さま設備の維持を、社会的使命として担ってまいりました。近年、自然災害が激甚化・頻発化する環境において、災害発生後の早急な電力供給の再開は重要性を増しています。災害等による大規模停電発生時に、電力会社の系統から切り離された系統に対して、再生可能エネルギー等を有効利用し、自立して電力を供給できる地域マイクログリッドを形成することで、災害拠点や生活に欠かすことのできない電気をいち早く確保し地域社会に貢献いたします。

いすみ市は、再生可能エネルギー等の有効活用による温室効果ガスの削減により、環境にやさしい持続可能な地域づくりと、災害等による大規模停電発生時の電源確保の方策として地域マイクログリッドを導入し、防災拠点等への長時間にわたる電力供給が可能なくみを構築することで、地域防災力向上及び災害に強いまちづくりの実現を目指します。

東京電力 PG 木更津支社は、一般送配電事業者として供給安定性・レジリエンス強化の観点から、災害等による大規模停電発生時に、お客さまへの電力供給の早期復旧に向け、関電工にて実施する地域マイクログリッドに参画し、当該エリアの電力設備の被害状況等をもとに、電力供給の復旧方法の整備を実施いたします。

関電工、いすみ市、東京電力 PG 木更津支社の三者は協働し、再生可能エネルギー等の活用による災害に強いまちづくり及び新しい地方創生への取り組みに貢献してまいります。

<いすみ市地域マイクログリッドの概要>

1. 構築範囲

いすみ市地域マイクログリッド構築範囲は、防災拠点のいすみ市庁舎及び指定避難所の大原中学校を中心に東電 PG 木更津支社の系統を開閉器で区分した約 30 軒。

いすみ市地域マイクログリッドエリアを供給する電源設備として、いすみ市庁舎に太陽光発電設備を、大原中学校に太陽光発電設備、LP ガス発電機及び蓄電池を設置する。

2. 地域マイクログリッド構築における設備所管

設備	設備所有者
送配電設備	東京電力パワーグリッド
発電設備	関電工
需給調整システム(EMS)	関電工

3. スケジュール

設備構築 2021 年 7 月～2023 年 1 月

設備運用 2023 年 2 月～2030 年 3 月



左から野本 関電工専務執行役員、田母神 関電工常務執行役員千葉支店長、
太田 いすみ市長、四元 東京電力パワーグリッド 木更津支社長

【本件に関する問い合わせ先】

関電工 総務法務部 050-3172-1364

いすみ市 危機管理課 0470-62-2000

東京電力パワーグリッド 千葉総支社 043-225-1099